

教育センター学びの丘研修員研修における学びについて

新宮市立熊野川小学校

教諭 山本賢太郎

複式学級の学習指導に関わる課題に即して、所属校と連携しながら研究テーマを設定し、その成果を広く学校現場に還元するため、1年間、修養と研究に励んできた。

修養では、研修講座や研修員研修等、様々な分野で専門性の高い研修を受講することで、自らの見識を広げることができた。また、本県の抱える教育課題について、校種の異なる研修員同士で協議することを通して、1つの視点だけで物事を判断するのではなく、多様な視点から課題解決に向けて取り組むことの重要性を学んだ。

研究では、所属校での授業実践を省察し、児童の主体性を育成することに繋がる複式学級での学習活動に着目し、その効果的な取組について研究した。主体性を育成するためには、課題解決に向けた学習方略を児童自身が身に付けることが必要であると考え、予習や学習シート、思考ツールを研究の中に位置づけ、授業実践を行った。その結果、学習活動に主体的に取り組む児童の姿が見られるようになり、児童が自ら学び方を学び、学習を調整することの必要性を自覚させることができた。

今後は、研修員生活で得た知識と経験を生かし、学校現場が抱える諸課題の解決に向けて主体となって取り組み、和歌山の教育に貢献できるよう努めていきたい。